

CERA 隔週投与による投与量減量の可能性

長崎腎病院

○矢野未来 船越 哲 宮崎健一 李 嘉明 橋口純一郎 中島さゆり 小嶺
真耶 江藤りか 原田孝司

【背景】

近年、血液透析（HD）患者への CERA の用法はメーカー推奨の 4 週に 1 回より短くすべきとの報告がみられる。

【目的】

縦断研究により、HD 患者の CERA 投与間隔を隔週とし、CERA 投与量・薬価の減量に繋がるかを検討する。

【対象・方法】

2011 年 10 月より CERA4 週に 1 回を開始した外来 HD 患者 95 名の、Hb・CERA 投与量・網状赤血球（ret）を 1 年間追跡し、2012 年 10 月より CERA 2 週に 1 回として CERA 投与量と薬価の変化をみた。鉄投与など他の治療因子は変更しなかった。

【結果】

月 1 回投与時の平均 CERA 投与量は $138.2 \mu\text{g}$ であった。ret は月 1 回投与の場合、投与 2 週間目に 2.21%であったが、4 週間目には 0.95%と低下したままでこのサイクルを繰り返した。隔週半量投与では ret は 1.51 と安定し、CERA 投与量は減少傾向が伺われた。

【考案】

CERA の投与間隔は隔週が適切で、投与量と薬剤費の削減が期待される。